

平成 29 年度あわじ寺子屋事業計画書

1. 居場所…1年目の活動実績の定着を丁寧に図る。学校と連携し、参加率の向上。

- ① 6月 ジャガイモの収穫祭
- ② 7月 17日(月) 海の日 午前10時~12時 跡地体育館
「友愛クラブと楽しむ卓球とドッチボール」
- ③ 11月 2日 サツマイモの収穫祭
- ④ 12月 22日 冬のお楽しみ会
- ⑤ 3月 24日 卒業と進級を祝う会

2. 学習支援事業を強化する。…保護者の強い要望があり、無視できない。子どもの可能性を広げ、自立を促すことになる。

元々学習が苦手な生徒に如何に「学習」に向かわせるか。

退職教職員の参加の働きかけ…府退教、市退教への協力依頼

大学生の募集と教育が必要

高校1年生を卒業させる取り組み。(留年させない取り組み)

3. 子ど野菜作りと体験学習、子どもの企画応援事業

①野菜作り

* ジャガイモ (3月に植える) → 6月に収穫祭

* タデアイ (4月に種まき) → 西淡路小2、3年生の藍染「生葉染」「叩き初め」用の栽培 7月と9月実施

* サツマイモ (5月に植える) → 11月2日に収穫祭

* ひょうたん、落花生、サトウキビ (4月に植える) などの栽培

* 常に、草引きと水やりが必要

②地域を知る機会を増やす

* 6月7日の崇禅寺慰霊祭…崇禅寺、西淡路・淡路・啓発社協と連携

* 高射砲台跡見学会

* 松本佳代子さん宅の会社見学など

* 淀川での探鳥会の実施

* 東淀川の昔話のおはなし会の開催

* 周辺の散策をして、子どもの目から見た「面白発見わが街探検地図づくり」の取り組み。

* 淡路支援センター内の「夏祭り」への生徒の企画からの参加の試

③夏休み中などの長期休み中の「地域の人々とする体験学習」の内容の充実

* 夏祭り等で出店ができる「工作づくり」…森川真嗣さんに依頼

* 手話を学び、パナソニック・エンジニアリング共栄株式会社の従業員との会話を楽しむ。

* 井上守さんと東淀川警察署による「自転車教室」

* あわじ寺子屋の子ども達の「地域貢献」を考える

月1回跡地のごみ拾い

夏休み中や冬休み中の地活防犯と共にする「火の用・防犯・防災活動・地域見守り活動」

4. 子どもと保護者の教育・生活相談事業の拡充

5. 淡路本町商店街振興組合と連携した「子ども食堂」の実施…助成金を獲得する・

6. 以上の事業を実施するために、学校、地域、教育関連団体、行政との連携と協働を図る。

7. 本年度は、資金力と人材力を付ける。特に、助成金を獲得しなくても、自力でできる努力をする。